平成２１事業年度
北海道支社事業計画の概要

2009年4月7日

あなたに、ベスト・ウェイ。

NEXCO
東日本

目　　次

1．H21事業計画のﾄﾋﾟｯｸｽ　……　1
2．高速道路建設事業の事業計画　……　2
3．高速道路管理事業の事業計画　……　3
4．サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画　……　9
《参考資料》　……10

1．H21事業計画のトピックス

① 道央自動車道（落部インターチェンジ（IC）※～八雲IC　16．0km）が新たに開通します。

② 道東自動車道（占冠IC※～トマムIC　26．2km）が新たに開通します。

③ 道東自動車道トマムIC～池田IC間の全料金所に、占冠IC※～トマムIC間の開通までにETCを整備します。

④ 北海道で初めてのスマートICが道央自動車道　輪厚パーキングエリア（PA）にオープンします。

※印の施設名称は仮称です。

2．高速道路建設事業の事業計画

技術と経験を最大限に活用し、地域の皆様と連携を図りつつ、安全・快適な高速道路ネットワーク整備を着実に進め、地域と共に親しみのあるハイウェイを提供します。

○平成21年度の高速道路建設事業では、北海道縦貫自動車道と北海道横断自動車道の2路線約130kmの事業を実施し、このうち道央自動車道落部IC(※)～八雲IC間16．0km及び道東自動車道占冠IC(※)～トマムIC間26．2kmを開通させます。(※**印の施設名称は仮称です。**)

○これにより、NEXCO東日本が担当する北海道内の高速道路等全体延長(720km)の88%にあたる632kmのネットワークが形成されます。

○平成21年度の建設事業費は、423億円を見込んでいます。

○また、環境に配慮した高速道路の整備及び新たな資材調達方式の工夫などによりコスト削減と品質の向上を目指します。

○開通に先立ち、インターチェンジにおける記念植樹祭など、地域交流イベントを実施し、地域に密着した活動を行います。

3．高速道路管理事業の事業計画（1）

豊かな北の大地を支えるために、冬期においても安心してご利用いただける道路を目指すなど、安全で円滑な道路交通を確保するとともに、ＥＴＣ設備の拡充を図り、効率的で使いやすく地域に貢献できる道路管理を目指します。

■交通安全対策や舗装の高機能化を推進します。

○雨天時の走行環境を向上させるため高機能舗装化を進めます。
○逆走を防止するためランプ合流部の路面標示や標識の追加など対策を講じます

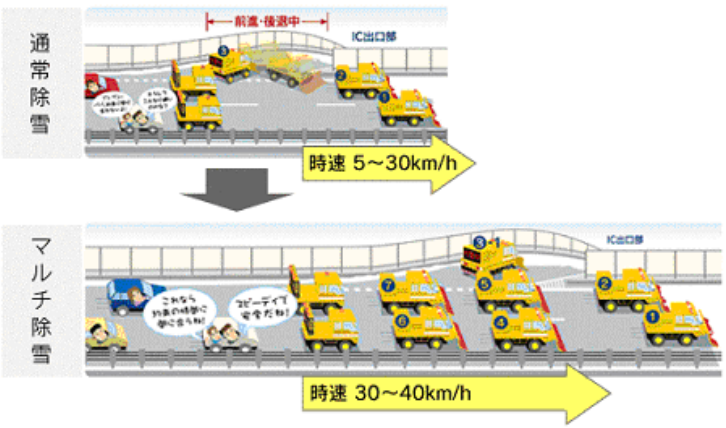
《従来の舗装（左側）と高機能舗装（右側））

《路面標示による逆走防止対策》

3．高速道路管理事業の事業計画（2）

■雪に強い道路を目指すため、雪氷作業や雪氷対策設備の充実を図ります。

○冬期間の交通確保のため、札幌高架区間のマルチ除雪よる作業速度向上など効率的な雪氷作業を行います。
○降雪時の走行性向上のため、路肩部にも自発光スノーポールを設置し、視程障害防止対策を進めます。



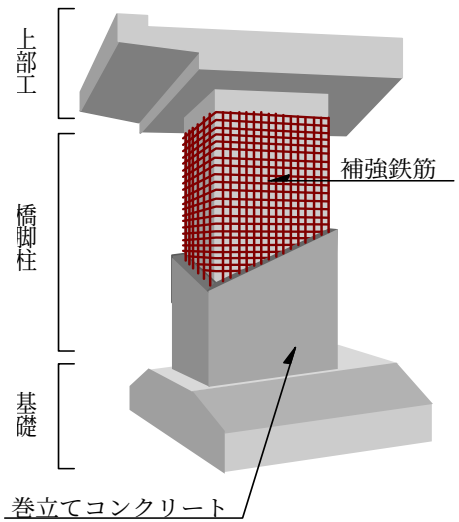
《マルチ除雪作業》

《自発光スノーポール》

3．高速道路管理事業の事業計画（3）

■災害に強い道路ネットワークを構築するため、橋梁の耐震補強などの防災対策を推進します。

○阪神･淡路大震災クラスの大地震にも耐えられるよう、 対策が必要な橋梁の補強を行っていきます。



《橋脚の耐震補強》

3．高速道路管理事業の事業計画（4）

■道東自動車道（占冠IC（仮称）～池田IC間）にＥＴＣ設備を設置し、お客様の利便性向上に努めます。

○トマムIC～池田IC間の全料金所に、道東自動車道占冠IC(仮称)～トマムIC間の開通までにＥＴＣを整備します。

※なお、道東自動車道トマムIC～本別IC・足寄IC間で初となる池田本線料金所のＥＴＣレーンを、平成２１年3月３１日（火）より運用開始しています。

《池田本線料金所のＥＴＣレーン》

3．高速道路管理事業の事業計画（5）

■北海道で初めてのスマートＩＣが道央自動車道輪厚ＰＡにオープンします。

○ＥＴＣ車限定で高速道路に乗り降りができるインターチェンジ（スマートIC）が、北海道で初めて輪厚ＰＡで開通します。これまで、北広島ICや恵庭ICからご利用いただいていたお客様の利便性向上が期待されます。

《スマートIC位置図》

3．高速道路管理事業の事業計画（6）

■不正通行対策を徹底します。

○「不正通行は許さない」という姿勢で不正通行対策の強化に取り組みます。

○悪質な不正通行者に対しては、不正通行監視カメラなどを活用して警察の捜査に協力していきます。

○カラー舗装の整備によるＥＴＣレーンへの誤進入対策やお知らせアンテナの整備によるＥＴＣカード挿入異常対策を進めます。

4．サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画

■魅力あるエリアづくりと地域との連携を活かしたサービスの拡大

○道央自動車道 輪厚ＰＡ営業施設のリニューアルを行い、魅力あるエリアづくりをめざします。

○地域の特産物・工芸品等を販売する地域特産品市場などのサービスを拡大します。

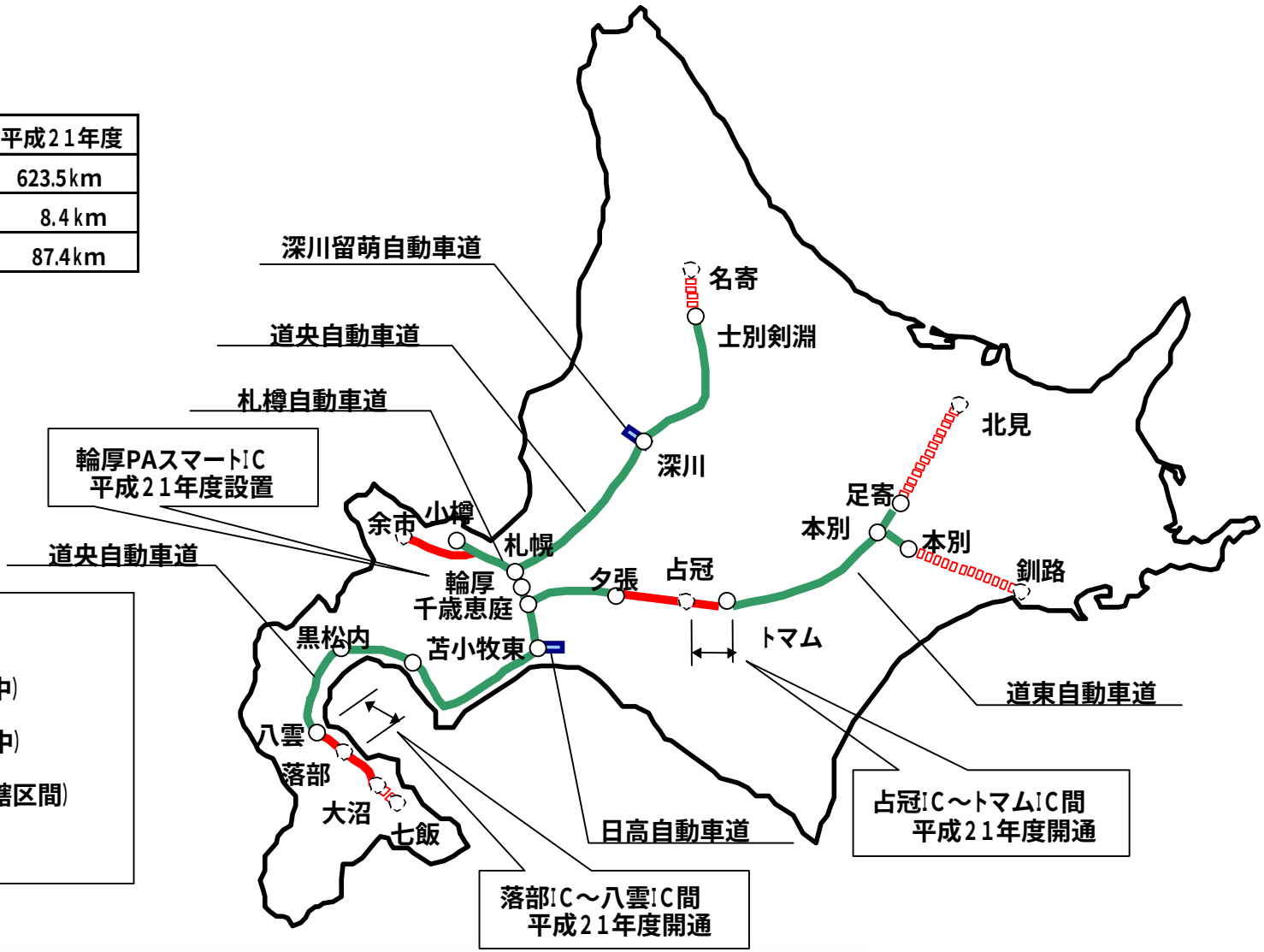
《地域特産品販売事例：道央自動車道　輪厚ＰＡ 野菜市場》

《地域特産品販売事例：道央自動車道 砂川ＳＡ 秋の感謝祭》

参　考　資　料

北海道支社　管内図

項　目		平成２０年度	平成２１年度
供用延長	高速自動車国道	581.3km	623.5km
	一般有料道路	8.4km	8.4km
事業延長		129.6km	87.4km



※事業中区間のIC名・JCT名は仮称です。

平成21年度　開通予定区間
[道央自動車道　落部IC～八雲IC]

○開通区間　　道央自動車道　落部IC※～八雲IC

○延　　長　　16.0km

○幅員及び車線数　　3.5m×2車線（暫定）

○設計速度　　100km／h

○インターチェンジ等　　1箇所
・落部IC　北海道二海郡八雲町東野
（道道落部インター線に連結）

○路線概要

道央自動車道は既に八雲IC～士別剣淵IC（L=397.6km）が開通しています。
今回の開通で函館方面へ高速道路が延伸され、既供用区間の機能の強化、一般国道5号バイパス機能の強化が期待され札幌と函館の都市間の移動時間が短縮され、より安全で快適な移動が可能となります。

※印の施設名称は仮称です。

平成21年度　開通予定区間
[道東自動車道　　占冠IC～トマムIC]

○開通区間　　道東自動車道　　占冠IC※～トマムIC

○延　　長　　26．2km

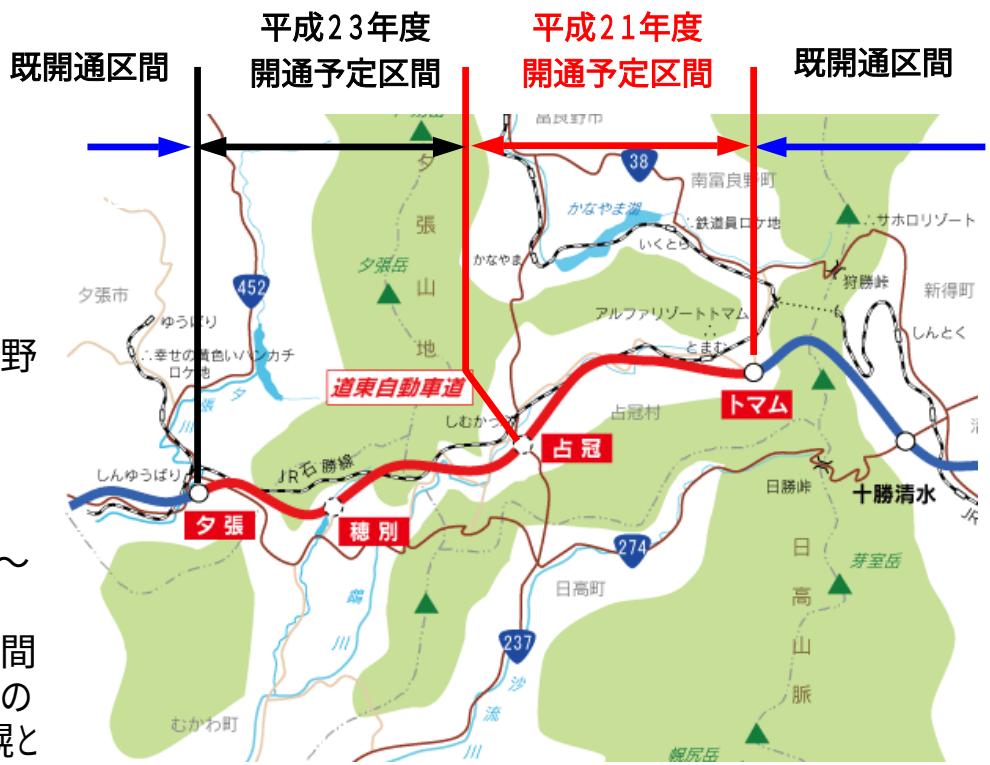
○幅員及び車線数　　3．5m×2車線（暫定）

○設計速度　　100km／h

○インターチェンジ等　　1箇所
　・占冠IC　北海道勇払郡占冠村字シムカプ原野
　（道道占冠インター線に連結）

○路線概要

道東自動車道は既に千歳JCT～夕張IC（L=42．1km）トマムIC～本別・足寄IC（L=103．3km）が開通しています。
今回の開通で、道央圏と道東圏がさらに一歩近づき、既供用区間の機能の強化、道央と道東を結ぶ一般国道274号バイパス機能の強化が期待され、道内屈指の交通の難所・日勝峠を回避し、札幌と帯広・釧路の都市間の移動時間が短縮され、より安全で快適な移動が可能となります。



※印の施設名称は仮称です。